



2027年3月期 第1四半期 決算概要

シスメックス株式会社
2026年8月7日

Together for a better
healthcare journey

Disclaimer

- ・本資料のうち、売上予想等に記載されている各数値は、現在入手可能な情報による判断および仮定に基づき算出しており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化により、実際の業績等が予想数値と大きく異なる可能性があります。
- ・本資料に記載されている製品等の情報は、薬事認可取得の有無に関わらず宣伝広告および医学的アドバイスを目的としているものではありません。
- ・当社グループは、2017年3月期より国際会計基準（IFRS）を適用し、IFRSに準拠して開示しております。

Index

1. エグゼクティブサマリー
2. 2027年3月期 第1四半期決算概要
3. 中期経営計画において重点的に取り組むテーマ
4. 2027年3月期 業績予想

(補足資料)

1. エグゼクティブサマリー

エグゼクティブサマリー（2027年3月期 第1四半期実績：対前年）



米州での力強い伸長に加え、円安効果も寄与し、大幅な増収・増益を達成

売上高

1,306 億円 前年同期比 **+23.6%**

営業利益

148 億円 前年同期比 **+39.5 %**

四半期利益*

86 億円 前年同期比 **+90.9%**

*親会社の所有者に帰属する四半期利益

為替の影響 ()内は為替影響を除いた前年同期比

売上高 +116.1 億円 (+12.6%)、販管費 +33.2 億円 (+2.6%)、営業利益 +4.6 億円 (+35.1%)

増収の主要因

- ✓ 米州を中心にヘマトロジー分野が大きく伸長
- ✓ EMEA・APでの堅調な成長に加えて、円安効果が寄与

(現地通貨ベース)

■ 米州 +26.1% / EMEA +11.0% / AP +7.6%*

* 為替の影響を除いた円貨ベースの前年同期比

■ 中国 △33.8% : 期初予想通り

増益の主要因

- ✓ 増収に伴う粗利増加および前年度一過性要因（棚卸資産の評価見直し）の解消などにより、増益

キャッシュ創出 ()内は対前年同期増減額

- ✓ 営業CF : 355億円 (+261億円)
- ✓ フリーCF : 170億円 (+196億円)

エグゼクティブサマリー（2027年3月期 上期・通期業績予想修正）



米州の好調な事業進捗により、上期予想を上方修正。下期は期初予想を据え置き

■ 上期（修正後）

売上高

2,650 億円

対期初予想 **+100億円**
前年同期比 **+14.0%**

営業利益

250 億円

対期初予想 **+20億円**
前年同期比 **△24.1%**

中間利益*

150 億円

*親会社の所有者に帰属する中間利益

対期初予想 **+10億円**
前年同期比 **△21.1%**

- ✓ 米州の好調な事業進捗に加え、第1四半期での円安効果が業績に寄与
- ✓ 一方、事業の見直しなどにより第2四半期内で一過性費用の可能性を織り込み

■ 通期（修正後）

売上高

5,450 億円

対期初予想 **+100億円**
前年同期比 **+9.0%**

営業利益

600 億円

対期初予想 **+20億円**
前年同期比 **+15.8%**

当期利益**

370 億円

**親会社の所有者に帰属する当期利益

対期初予想 **+10億円**
前年同期比 **+4.4%**

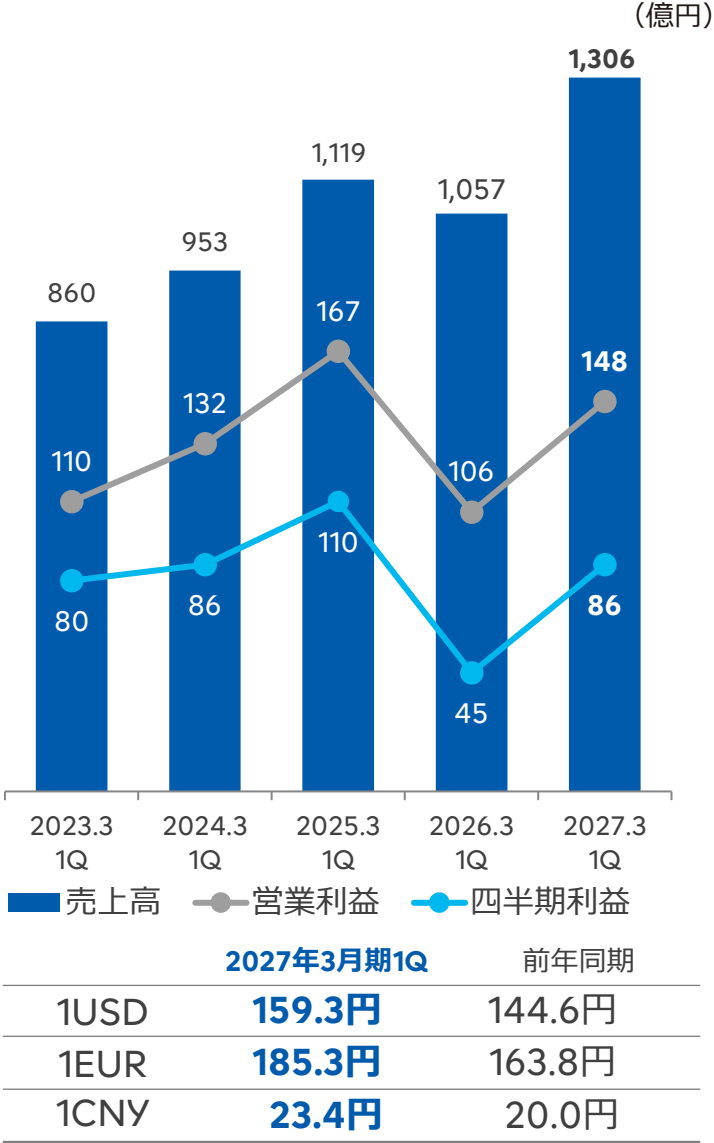
- ✓ 下期は、期初予想を据え置く
 - 中国及び事業ポートフォリオ見直しに伴う影響が明確になり次第、必要に応じて修正予定

2. 2027年3月期 第1四半期決算概要

決算総括（対前年）



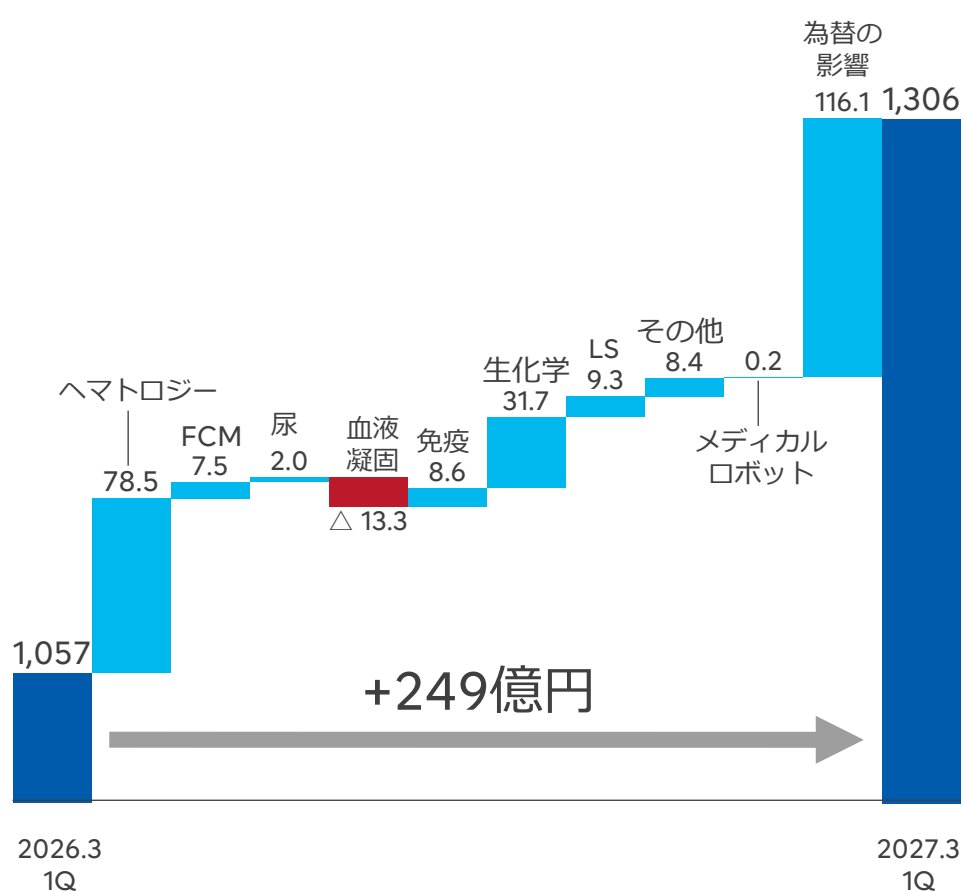
	2027年3月期1Q		前年同期		前年同期比
	実績	構成比	実績	構成比	
(億円) 売上高	1,306.7	100%	1,057.3	100%	123.6%
売上原価	643.6	49.3%	512.6	48.5%	125.5%
販売費及び 一般管理費	426.1	32.6%	382.9	36.2%	111.3%
研究開発費	72.1	5.5%	64.0	6.1%	112.5%
その他の営業損益	△16.6	-	8.6	0.8%	-
営業利益	148.2	11.3%	106.2	10.1%	139.5%
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	86.9	6.7%	45.5	4.3%	190.9%



売上高の増減要因（事業別・分野別）

事業別・分野別売上高

（億円）



（億円）

	2027年3月期1Q		前年同期比		
	実績	構成比	円ベース	為替影響を 除く	中国・為替 影響を除く
売上高	1,306.7	100.0%	123.6%	112.6%	121.6%
ヘマトロジー	802.4	61.4%	123.8%	112.1%	115.5%
FCM	15.0	1.2%	251.4%	225.5%	180.7%
尿	110.5	8.5%	113.6%	102.2%	107.4%
血液凝固	146.1	11.2%	99.5%	90.9%	138.0%
免疫	52.1	4.0%	129.8%	121.5%	165.3%
生化学	38.4	2.9%	596.1%	591.9%	678.2%
ライフサイエンス	65.9	5.1%	129.1%	118.4%	117.8%
その他	66.4	5.0%	127.3%	116.2%	116.3%
ダイアグノスティクス 事業	1,297.4	99.3%	123.8%	112.7%	121.8%
メディカルロボット 事業	9.3	0.7%	102.9%	102.7%	103.3%

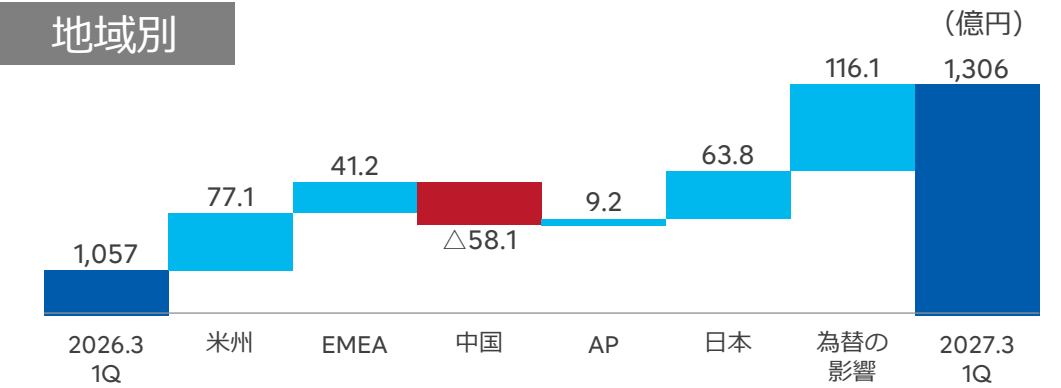
売上高の増減要因（地域別・品目別）



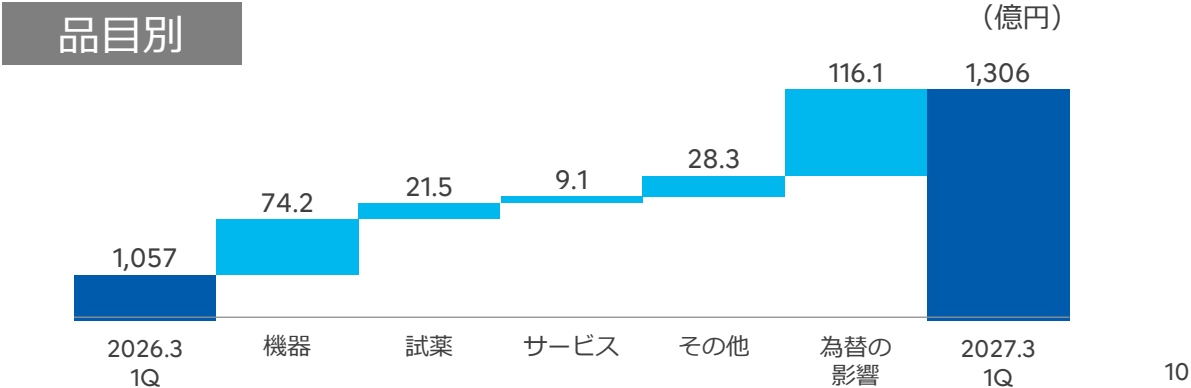
米州・EMEA・AP・日本の伸長および円安影響により、大幅増収

(億円)	2027年3月期1Q		前年同期比	
	実績	構成比	円ベース	現地通貨ベース
売上高	1,306.7	100.0%	123.6%	112.6%※
米州	419.6	32.1%	138.9%	126.1%
EMEA	441.2	33.8%	125.5%	111.0%
中国	133.8	10.2%	77.5%	66.2%
AP	138.0	10.6%	114.2%	107.6%※
日本	173.9	13.3%	157.9%	-
機器	294.2	22.5%	151.6%	138.2%※
試薬	759.1	58.1%	113.7%	103.2%※
サービス	181.3	13.9%	116.2%	105.9%※
その他	72.0	5.5%	82.1%	171.7%※

※為替の影響を除いた円貨ベースの前年同期比伸長率



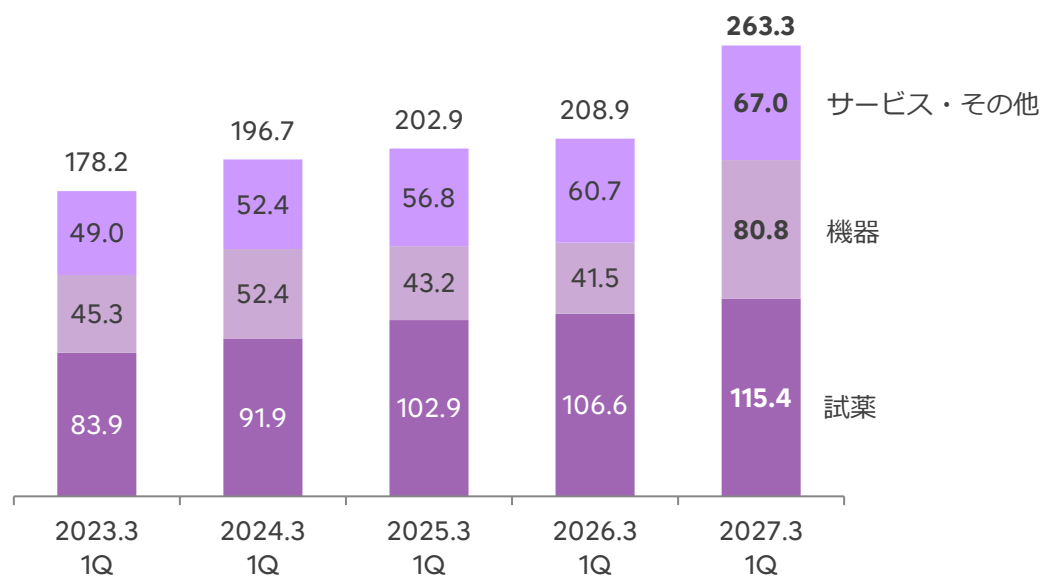
地域別の主な増減要因		*現地通貨ベース
米州	• 北米およびブラジルを中心に好調に推移し、ヘマトロジー、血液凝固、免疫分野がいずれも伸長し、 大幅増収	
EMEA	• 主要国での2桁成長が牽引し、ヘマトロジー、血液凝固、尿の主要分野が揃って伸長し、 増収	
中国	• 前年度2Qから顕在化している医療費抑制政策および代理店の在庫調整の影響により、 減収 （期初予想通りに推移）	
AP	• インドでの高い成長に加え、インドネシアの回復もあり、 増収	
日本	• 機器・試薬ともに例年水準へ回復したことに加え、4月から承継した生化学分野等も寄与し、 大幅増収	



米州（地域別）

(Million USD)	2027年3月期 1Q	前年同期	前年同期比	
			現地通貨ベース	円ベース
売上高	263.3	208.9	126.1%	138.9%
機器	80.8	41.5	194.7%	214.6%
試薬	115.4	106.6	108.3%	119.3%
サービス・その他	67.0	60.7	110.4%	121.7%

売上高推移（Million USD）



北米およびブラジルを中心に好調に推移し、ヘマトロジー、血液凝固、免疫分野がいずれも伸長し、**大幅増収**

● 機器

- ✓ヘマトロジー・血液凝固分野が北米を中心に好調に推移し、大きく増収
- ✓ヘマトロジー分野では、北米で受注していたXN™シリーズの設置が進み、増収を牽引

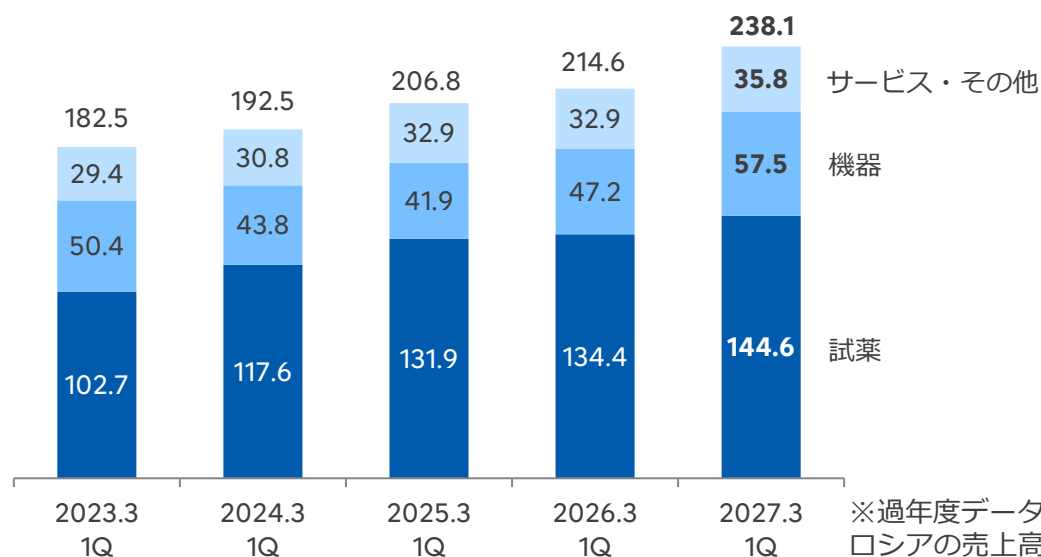
● 試薬

- ✓ヘマトロジー・尿・血液凝固分野を中心に、機器設置台数の増加に伴い、全分野で増収
- ✓アミロイドβ検査試薬も順調に推移（売上高2.3 MUSD）

EMEA（地域別）

(Million EUR)	2027年3月期 1Q	前年同期	前年同期比	
			現地通貨ベース	円ベース
売上高	238.1	214.6	111.0%	125.5%
機器	57.5	47.2	121.9%	137.9%
試薬	144.6	134.4	107.6%	121.7%
サービス・その他	35.8	32.9	108.8%	123.3%

売上高推移（Million EUR）



※過年度データを含め、ロシアの売上高を除く

主要国での2桁成長が牽引し、ヘマトロジー、血液凝固、尿の主要分野が揃って伸長し、**増収**

● 機器

- ✓ フランスやオーストリアでXR™シリーズが伸長した他、ドイツおよびイタリアで尿分野が好調に推移
- ✓ 血液凝固分野も、ドイツ・イタリアを中心に各国で順調に伸長し、増収

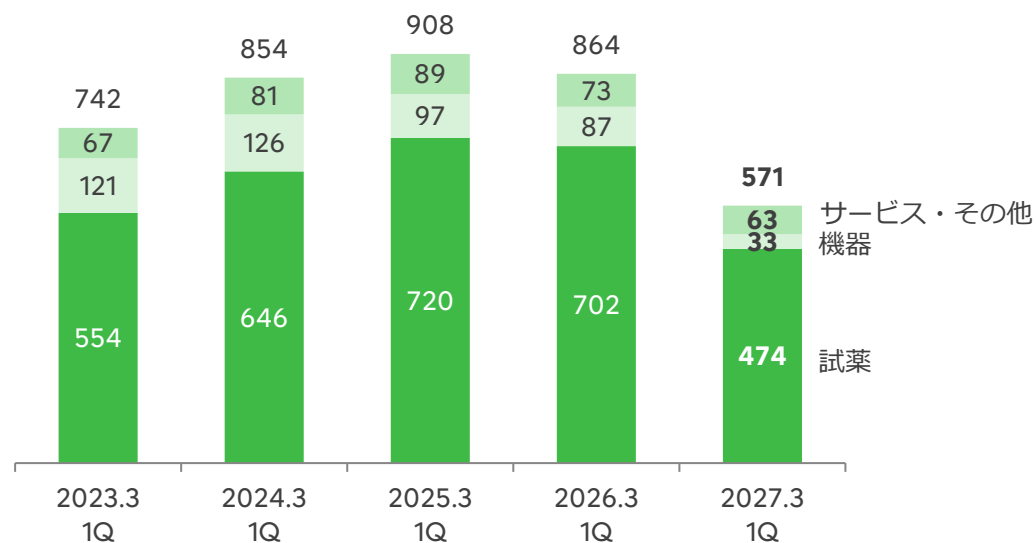
● 試薬

- ✓ ヘマトロジー分野を中心に、主要分野の機器設置台数の増加に伴い、増収
- ✓ 血液凝固分野は、前年度大型案件を獲得したドイツや、サウジアラビアなどで増収

中国（地域別）

(Million CNY)	2027年3月期 1Q	前年同期	前年同期比	
			現地通貨ベース	円ベース
売上高	571.6	864.0	66.2%	77.5%
機器	33.9	87.6	38.8%	45.4%
試薬	474.5	702.9	67.5%	79.1%
サービス・その他	63.0	73.3	85.9%	100.7%

売上高推移（Million CNY）



前年度2Qから顕在化している医療費抑制政策および代理店の在庫調整の影響により、**減収**

● 機器

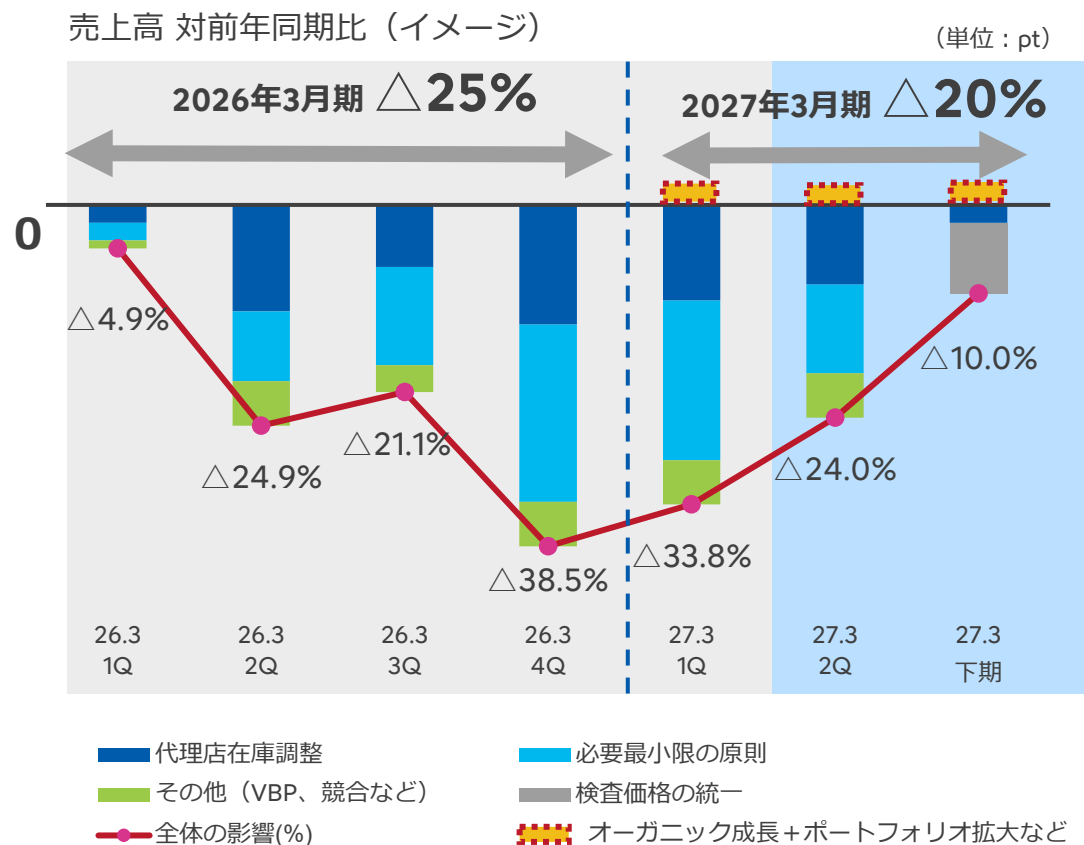
- ✓ 医療費抑制政策の拡大懸念を背景に、代理店の在庫調整が継続しており、減収

● 試薬

- ✓ 必要最小限の原則の影響により、主に血液凝固分野で検査数が減少したことで 減収
- ✓ ヘマトロジー分野を中心に代理店の在庫調整が継続しており、減収
- ✓ 検査価格統一の影響は顕在化していない

中国における現状と今後の見通し

1Qは想定通りに推移、通期の見通しも当初想定を維持



2027年3月期1Q実績：想定通りに推移

- 必要最小限の原則、代理店の在庫調整が継続

2027年3月期の見通し

上期：2Qも期初想定の範囲内で推移

下期：必要最小限の原則の影響は一巡
代理店の在庫調整（機器）は長期化するリスクあり
検査価格統一の影響は、4Qから全国拡大を見込むも、不透明な状況

状況を注視し、重要な変化があれば適宜開示

検査価格統一に向けたパブリックコメント募集第2弾

国家医疗保障局司便函

检验类医疗服务价格项目立项指南 再次征求意见稿

各省、自治区、直辖市及新疆生产建设兵团医疗保障局：
为规范管理医疗服务价格项目，使医疗服务价格项目更好计价、更好执行、更好评价，更能适应临床诊疗和价格管理需要，我局充分吸收前期反馈意见，修改形成了检验类医疗服务价格项目立项指南。现再次印送各单位征求意见，请结合实际研究提出意见建议，并随指南一并反馈。请各有关单位高度重视，广泛征求意见，并于7月8日17:00前反馈。

感谢对我们工作的大力支持！
反馈邮箱：jcs_jxc@nhssa.gov.cn

附件：检验类医疗服务价格项目立项指南（再次征求意见稿）

■ 公表 6月30日（第1弾は3月末）

- ・ 検査項目や価格設定に関する追加の意見募集
- ・ 病院・企業・業界団体等へ意見募集

■ 意見募集期限 7月6日

- ・ 全体で約50項目の追加、修正提案など

■ 今後の見通し

7-8月

4エリア6省で試行運用

8月末

正式版・実施細則公表

9-12月

全国導入期間

- 検査価格が全国一律の最低価格に統一されるのではなく、各省が地域特性や試行省の動向を踏まえて設定される想定
- 正式版発布後は、試薬価格の下落を見込むも、価格水準は未公表であり、当社への業績影響は不透明な状況が継続

AP（地域別）

（億円）	2027年3月期 1Q	前年同期	前年同期比 円ベース
売上高	138.0	120.9	114.2% (107.6%)
ダイアグノスティクス事業	137.6	120.4	114.2%
機器	17.3	23.1	74.9%
試薬	110.7	86.6	127.7%
サービス・その他	9.6	10.6	90.2%
メディカルロボット事業	0.3	0.4	92.0%

*（）は為替の影響を除いた場合

インドでの高い成長に加え、インドネシアの回復もあり、
増収

ダイアグノスティクス事業

● 機器

✓ インド及びフィリピンでの入札遅延等により、減収

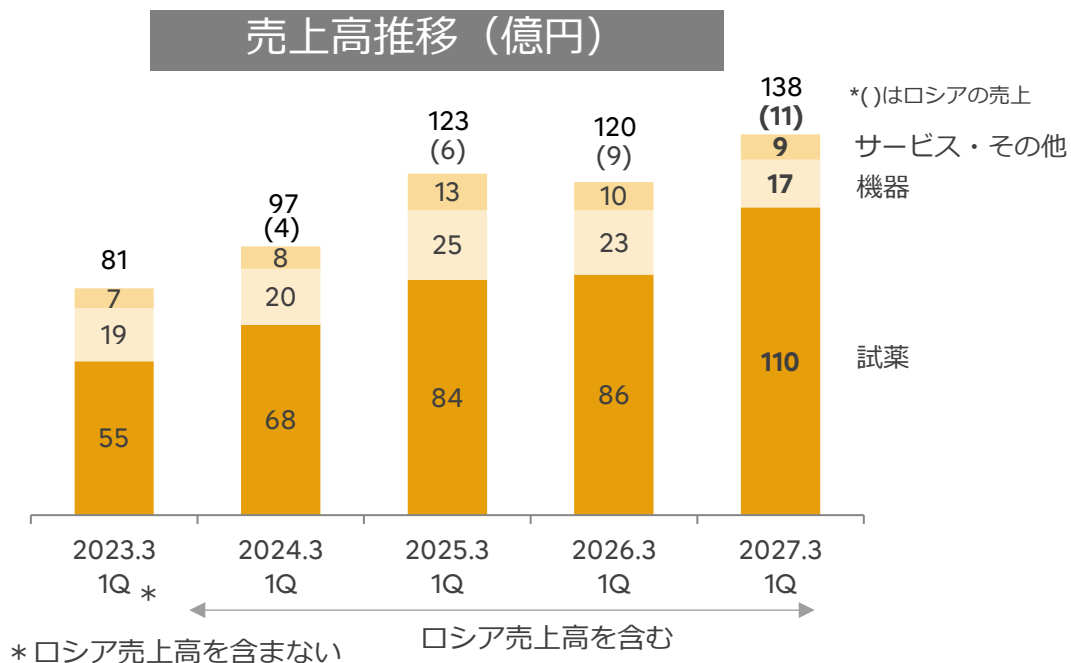
● 試薬

✓ インドにおいて、ヘマトロジー・尿・血液凝固分野の
機器設置台数増加に伴い、大幅伸長

✓ シンガポール、マレーシアなど東南アジアを中心に
好調に推移し、全分野で増収

メディカルロボット事業

✓ ベトナムで販売承認を取得



日本（地域別）

(億円)	2027年3月期 1Q	前年同期	前年同期比 円ベース
売上高	173.9	110.1	157.9%
ダイアグノスティクス事業	164.9	101.4	162.6%
機器	30.5	15.6	194.8%
試薬	85.2	66.0	129.0%
サービス・その他	49.1	19.7	249.6%
メディカルロボット事業	8.9	8.6	103.4%

機器・試薬ともに例年水準へ回復したことに加え、4月から承継した生化学分野等も寄与し、**大幅増収**

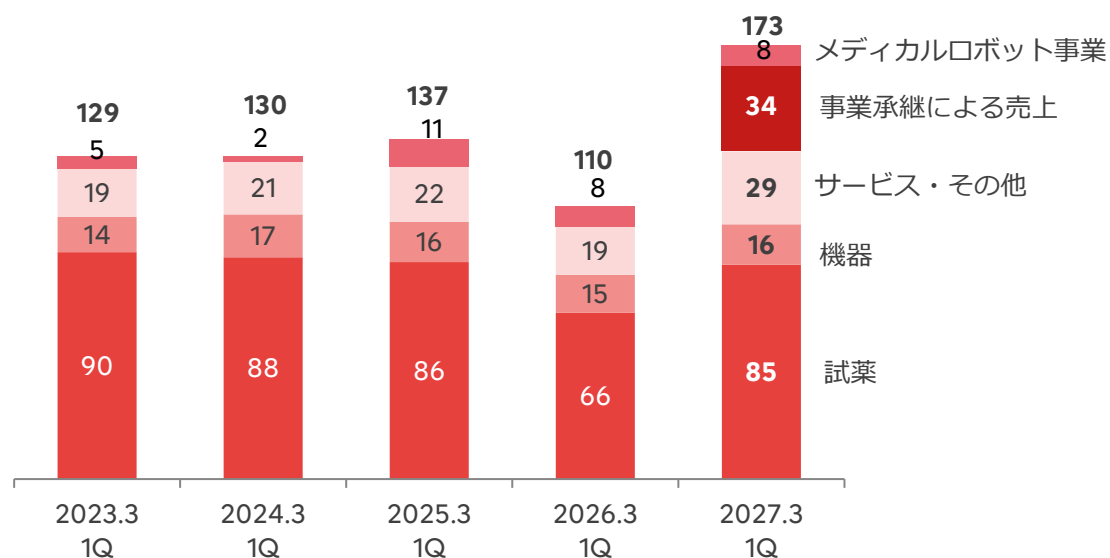
ダイアグノスティクス事業

- **機器**
 - ✓ ヘマトロジー分野は、更新需要の一巡により、減収
- **試薬**
 - ✓ 尿・血液凝固・免疫分野の機器設置台数増加に伴い、検査数が好調に推移し、増収
 - ✓ 前年のシステム切り替えに伴う反動影響は解消
- **事業承継**
 - ✓ 4月から事業を開始しており、生化学・免疫分野で増収

メディカルロボット事業

- 第1四半期導入台数：2台（累計台数：108台）

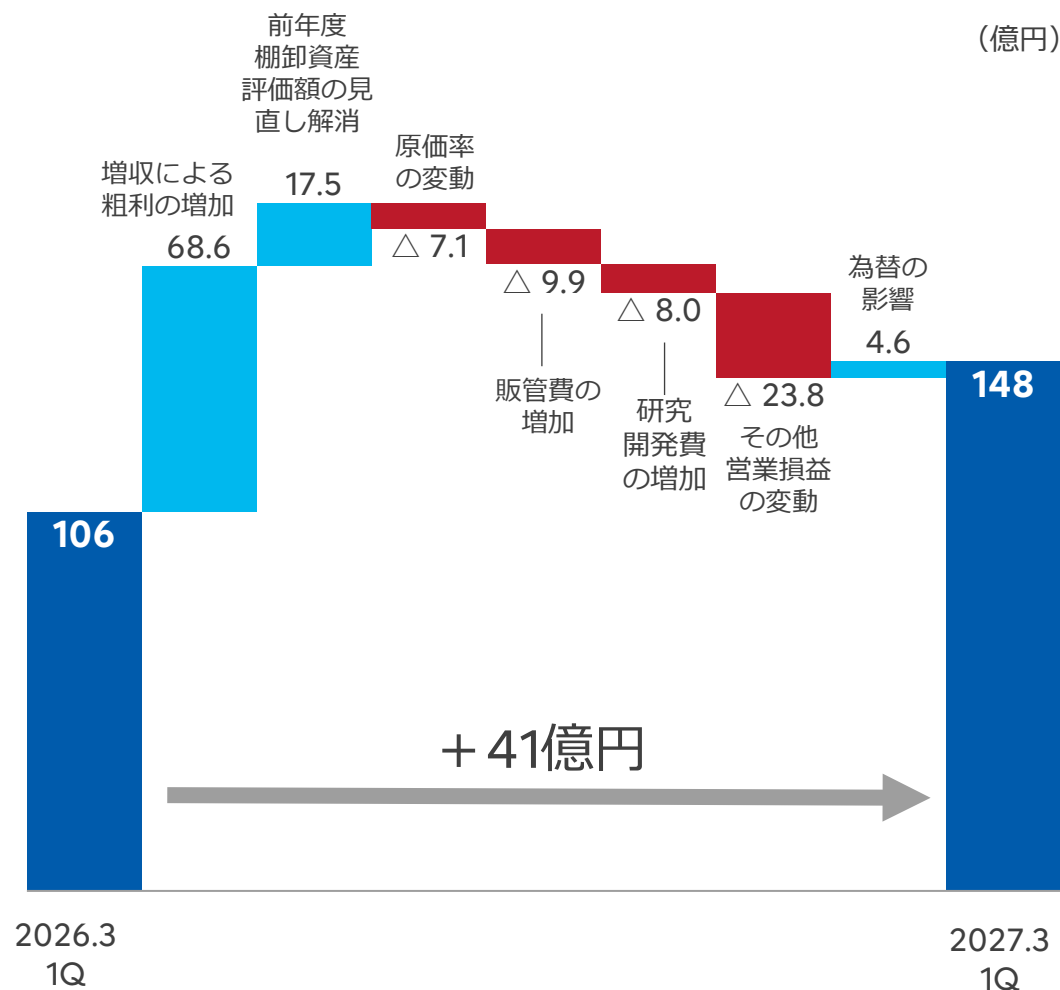
売上高推移（億円）



営業利益の増減要因（対前年）

営業利益

※下記数値・コメントは為替の影響を除く



- 増収による粗利の増加：+68.6億円
 - 前年度棚卸資産評価額の見直しの解消：+17.5億円
 - 原価率の変動：△7.1億円（0.5pt悪化）
 - ✓ 改善要因：粗利率の高い機器の売上増加 1.6pt
 - ✓ 悪化要因：プロダクトミックス 3.2 pt、関税影響 0.2pt
 - 販売管理費の増加：△9.9億円
 - ✓ 労務費：直販地域拡大に伴う人員増や単価増：△5億円
 - 研究開発費の増加：△8.0億円
 - ✓ 製品開発への投資拡大
 - その他営業損益の変動：△23.8億円
 - ✓ 契約対応に伴い発生し得る損失を引当計上
-
- 為替の影響：+4.6億円

3. 中期経営計画において重点的に取り組むテーマ

重点テーマの進捗

血液凝固分野の展開加速

EMEA

1Q実績(現地通貨ベース) 前年同期比：+41%増

- ・ ヘマトロジー分野の顧客基盤を活かした活動が奏功しており、機器・試薬ともに伸長
- ・ 特殊検査項目（HIT IgG試薬など）の薬事認可を取得するなど、競争力強化を推進

米州

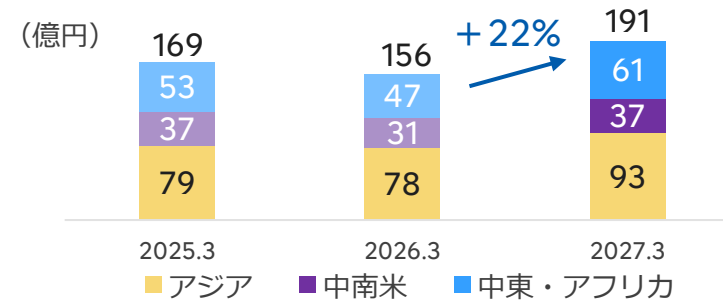
1Q実績(現地通貨ベース) 前年同期比：+134%増

- ・ 北米：CN™シリーズの設置開始
今後の大型案件獲得に向け営業活動を強化
- ・ 中南米：ブラジルでCNシリーズの薬事認可 取得完了
(2027年3月期2Q販売開始予定)

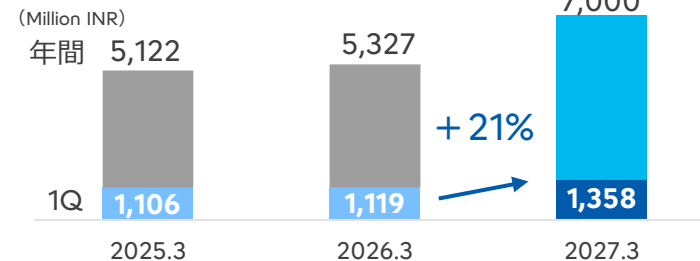
新興国での事業拡大

■ 売上高推移（第1四半期）

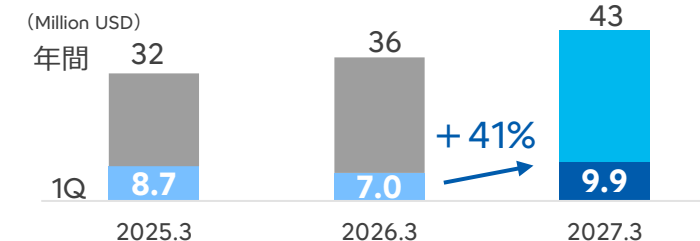
新興国（アジア・中南米・中東・アフリカ）



インド



ブラジル



収益性改善に向けた取り組み 進捗

バリューチェーン改革



試薬の収益性向上

- 試薬原価改善に向けた全社プロジェクトを推進し、収益性向上に向けた取り組みを加速

ヘマトロジー分野

- 染色液や溶血剤などの試薬について、原材料や製造プロセスの見直し、最適化

→粗利益率は既に高水準で改善率は限定的ながら、事業規模を背景に改善効果を期待

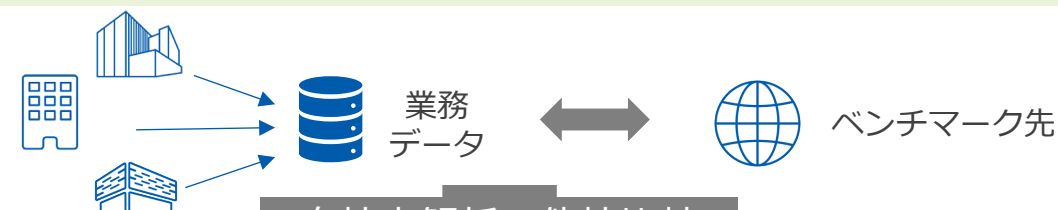
免疫分野

- 感染症項目（HBV,HCVなど）を中心に、生産スケールアップによる生産頻度の低減、原材料の内製化を推進

→事業規模は限定的ながら、他分野に比べ試薬原価が高く、改善余地も大きい

AI・デジタル活用による生産性向上

- 社内データ × AI・Digital = 生産性の高い企業体質
- グローバルに蓄積されてきた業務データを活用し、収益性/効率性向上に向けた業務変革を推進中



自社内解析・他社比較

- ✓ 受注・出荷・請求・支払関連プロセスを詳細に分析
- ✓ 出荷リードタイム長期化や手作業発生の要因を特定

実行フェーズへ移行

- ✓ 受注から出荷までのリードタイム短縮
- ✓ 顧客からの受注処理の標準化・自動化に着手

バリューチェーン改革とデータ活用を通じ、収益力と資本効率の向上を目指す

4. 2027年3月期 業績予想

2027年3月期 業績予想修正（上期）



緑字：2026年5月からの変更箇所

(億円)	2027年3月期 第1四半期 (4月-6月)		2027年3月期 第2四半期 (7月-9月)		2027年3月期 上期予想 (4月-9月)			
	実績	構成比	予想	構成比	修正後	構成比	前年同期比	対期初予想
売上高	1,306.7	100%	1,343	100%	2,650	100.0%	114.0%	+100
売上原価	643.6	49.3%	646	48.1%	1,290	48.7%	117.3%	+20
販売費及び一般管理費	426.1	32.6%	474	35.3%	900	34.0%	115.6%	±0
研究開発費	72.1	5.5%	78	5.8%	150	5.7%	113.6%	±0
その他営業損益	△16.6	-	△43	-	△60	-	-	△60
営業利益	148.2	11.3%	102	7.6%	250	9.4%	75.9%	+20
親会社の所有者に 帰属する当期利益	86.9	6.7%	63	4.7%	150	5.7%	78.9%	+10

為替レート（実績・想定）

	1Q実績	2Q単四半期想定 (修正なし)	上期想定 (2026年8月修正)
1 USD	159.3円	155.0円	157.2円
1 EUR	185.3円	180.0円	182.6円
1 CNY	23.4円	22.0円	22.7円

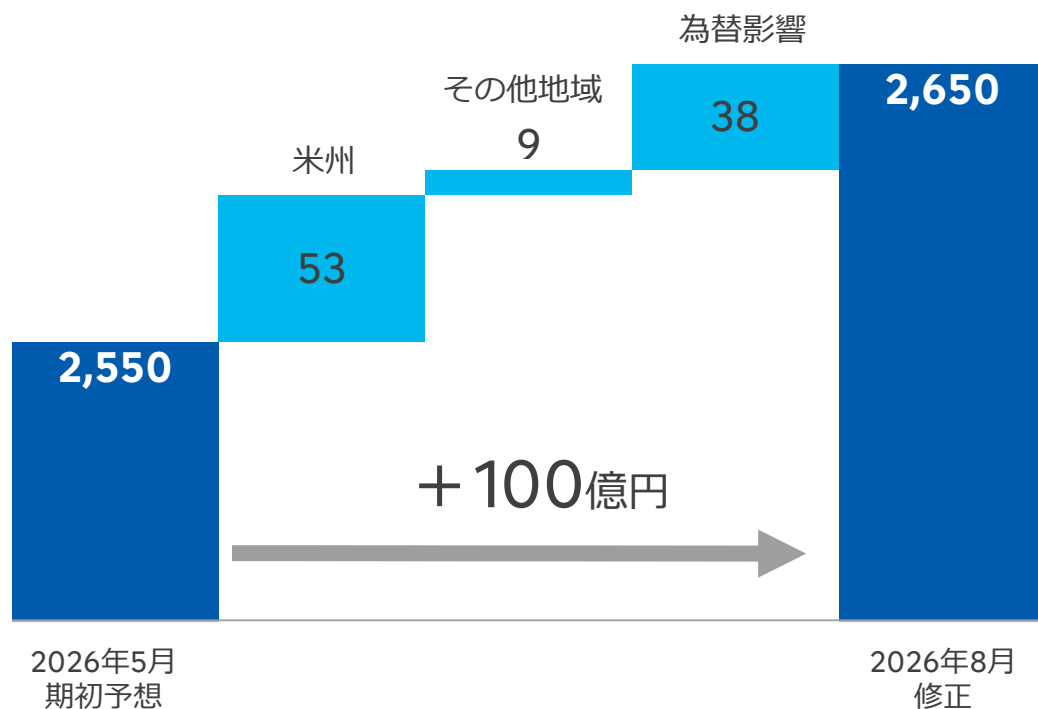
2027年3月期 上期業績予想修正

変動要因



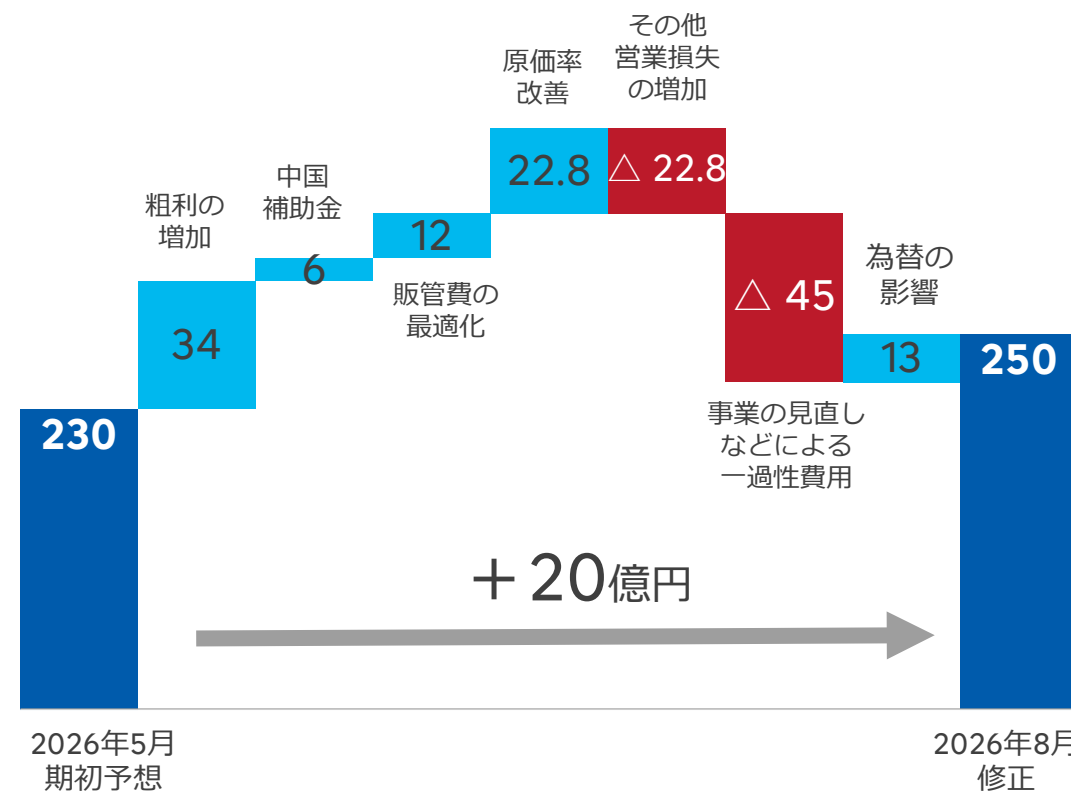
売上高

(億円)



営業利益

(億円)



2027年3月期 業績予想修正（通期）



緑字：2026年5月からの変更箇所

(億円)	2027年3月期 下期 (10月-3月)		2027年3月期 通期予想 (4月-3月)			
	予想	構成比	修正後	構成比	対前年	対期初予想
売上高	2,800	100%	5,450	100.0%	109.0%	+100
売上原価	1,400	50.0%	2,690	49.4%	110.1%	+20
販売費及び一般管理費	910	32.5%	1,810	33.2%	110.1%	±0
研究開発費	150	5.4%	300	5.5%	102.9%	±0
その他営業損益	10	0.4%	△50	-	-	△60
営業利益	350	12.5%	600	11.0%	115.8%	+20
親会社の所有者に 帰属する当期利益	220	7.9%	370	6.8%	104.4%	+10

主な経営指標

通期予想

ROE	7.5%
ROIC	7.5%
CCC	200日
営業CF	890億円
フリーCF	280億円

想定為替レート

	上期 (2026年8月修正)	下期 (修正なし)	通期 (2026年8月修正)
1 USD	157.2円	155.0円	156.1円
1 EUR	182.7円	180.0円	181.3円
1 CNY	22.7円	22.0円	22.4円

為替感応度の概算値

	売上	営業利益
USD	8.7億円	2.2億円
EUR	6.4億円	0.7億円
CNY*	3.3億円	2.4億円

*0.1円変動時

投資計画（変更なし）：設備投資480億円、減価償却費：470億円

2027年3月期 業績予想修正（事業・分野別・地域別売上高）



■事業・分野別売上高

(億円)	2027年3月期	構成比	前年同期比
ヘマトロジー分野	3,250	59.6%	108.5%
FCM分野	75	1.4%	159.9%
尿分野	490	9.0%	111.2%
血液凝固分野	740	13.6%	102.2%
免疫分野	230	4.2%	103.1%
生化学分野	130	2.4%	445.7%
ライフサイエンス	240	4.4%	96.2%
その他	240	4.4%	92.5%
ダイアグノスティクス事業	5,395	99.0%	108.6%
メディカルロボット事業	55	1.0%	166.5%
合計	5,450	100%	109.0%

■地域別売上高

緑字：2026年5月からの変更箇所

(億円)	2027年3月期	構成比	前年同期比	
			円ベース	現地通貨ベース
米州	1,585	29.1%	113.8%	110.1%
EMEA	1,760	32.3%	111.4%	107.6%
中国	765	14.0%	85.5%	81.8%
AP	620	11.4%	113.5%	-
日本	720	13.2%	122.9%	-

(補足資料)

サステナビリティ目標 2026年3月期実績



健康社会への価値創出

・目標を「-」で表示している項目は、目標を設定しないモニタリング項目

マテリアリティ	KPI	実績		目標
		2025年3月期	2026年3月期	2027年3月期
一人ひとりのQOL向上と健康寿命の延伸 医療従事者の安全・生産性の向上 医療経済性の向上 医療アクセスの向上	ヘマトロジー検査件数	2,904百万件※1	3,014百万件	-
	ヘマトロジー市場シェア※2	56.0%※1	56.1%	-
	手術支援ロボットによる症例数	5,209件	7,857件	-
	特許保有件数	3,337件	2,931件	-
	特許出願件数	182件	173件	-
	がんゲノム医療解析実施件数※3	1.8千件	1.7千件	-
	OSNA™法による乳がん患者検査数	53千件	53千件	-
	新興国・開発途上国売上高※4	1,795億円	1,574億円	-

責任ある製品・サービス・ソリューションの提供

マテリアリティ	KPI	実績		目標
		2025年3月期	2026年3月期	2027年3月期
品質と信頼の追求	リコール件数	6件	6件	-
	FDA Warning Letter件数	0件	0件	-
レジリエントなサプライチェーン構築 による安定供給の維持	CSR調査回答率（国内・海外一次サプライヤー）	95%	95%	90%
	サプライヤー（国内）に対するトレーニング件数※5	6件	6件	3件
	サプライヤー（国内一次）第三者認証取得率※5	89%	90%	-

※1 計算方法の見直しにより、昨年度開示数値から変更 ※2 出所：Clearstateおよび当社推計 ※3 対象：国内グループ会社 ※4：中国含む ※5 対象：シスメックス株式会社単体

サステナビリティ目標 2026年3月期実績



環境への負荷低減

・目標を「-」で表示している項目は、目標を設定しないモニタリング項目

マテリアリティ	KPI	実績		目標
		2025年3月期	2026年3月期	2027年3月期
製品ライフサイクルにおける資源循環	プロダクトロスのゼロ化	0.40%	0.18%	0.16%
	リサイクル・環境配慮材料への完全代替	62%	67%	70%
	GHG排出量削減率（スコープ3）※1	1%削減	8%増加	7%削減
	サプライヤーエンゲージメント比率	40%	40%	-
	包装用資材削減率※2	4%削減	25%削減	-
気候変動への対応 水資源の効率的使用	GHG排出量削減率（スコープ1,2）※1	33%削減	41%削減	44%削減
	再生可能エネルギー比率	72%	83%	82%
	一人あたりエネルギー使用量削減率※1	7%削減	17%削減	-
	水消費量削減率（主要試薬工場）※1	31pt削減	25pt削減	34pt削減
	総廃棄物量削減率※1	33%削減	41%削減	43%削減
	製商品廃棄額対売上高比率	0.5%	0.3%	-

GHG排出量 スコープ1：企業の施設や工場、社用車から直接排出される温室効果ガス

GHG排出量 スコープ2：エネルギーの使用に伴う、企業から間接排出される温室効果ガス

GHG排出量 スコープ3：商品・サービスに関わる企業群（サプライチェーン）全体から排出される温室効果ガス

※1：基準年度2022年度 ※2：基準年度2019年度

サステナビリティ目標 2026年3月期実績



ガバナンスの強化

・目標を「-」で表示している項目は、目標を設定しないモニタリング項目

マテリアリティ	KPI	実績		目標
		2025年3月期	2026年3月期	2027年3月期
法令順守・人権尊重・高い倫理観に基づいた事業活動 情報システム・製品のサイバーセキュリティ対策	投資家アナリストミーティング数※2	753社	901社	-
	内部通報件数	17件	50件	-
	倫理違反件数	19件	26件	-
	情報リテラシー教育受講者数※1	27,060名	31,744名	-
	防災教育受講率※1	89.5%	88.6%	-

※1 対象：国内グループ会社 ※2 対象：シスメックス株式会社単体

サステナビリティ目標 2026年3月期実績



人的資本の最大化

・目標を「-」で表示している項目は、目標を設定しないモニタリング項目

マテリアリティ	KPI	実績		目標
		2025年3月期	2026年3月期	2027年3月期
人材の獲得と育成	エンゲージメントスコア	76%	74%	75%
	離職率	8.0%	8.0%	10%以下
	自発的離職率	5.6%	4.4%	-
	育児休業からの復帰率※2	99%	100%	-
	男性育児休業取得率※2	77%	80%	70%以上
ダイバーシティ、エクイティ & インクルージョン（DE&I）の推進	女性マネジメント比率	18.7%	19.7%	21%
	女性次世代マネジメント比率	34.0%	34.2%	-
	女性従業員比率	41.1%	41.4%	-
	管理専門職層の中途採用者比率※2	38.6%	37.8%	-
	採用者の男女比率（新卒、中途）※2	新卒：43.0% 中途：36.5%	新卒：37.5% 中途：15.7%	-
	経営層の女性比率、外国籍比率	女性：8.3% 外国籍：16.7%	女性：12.0% 外国籍：16.0%	-
	グループ各社の経営層の女性比率	14.8%	12.3%	-
	管理専門職層の賃金格差(総報酬額)(女性:男性)※2	96.2%	95.4%	-
	一般社員層の賃金格差(総報酬額)(女性:男性)※2	84.7%	85.9%	-
	障がい者雇用率※1	2.69%	2.63%	2.7%以上

※1対象：国内グループ会社 ※2対象：シスメックス株式会社単体

サステナビリティ目標 2026年3月期実績



人的資本の最大化

・目標を「-」で表示している項目は、目標を設定しないモニタリング項目

マテリアリティ	KPI	実績		目標
		2025年3月期	2026年3月期	2027年3月期
人材の獲得と育成	平均教育時間	24.7時間	29.5時間	40.0時間
	付加価値生産性（単体）※2	15,042円	11,230円	-
	付加価値生産性（グループ）	2,144万円	1,901万円	2,100万円
	人材育成投資（単体）※2	2.61億円	2.22億円	-
	人材育成投資（グループ）	5.95億円	6.07億円	-
	研修への参加率（単体）※2	100%	100%	90%以上
	研修への参加率（グループ）	96%	97.60%	-
	サクセッションプラン有効率※2	92.3%	100%	-
	サクセッション・カバレッジ率※2	289.5%	218.2%	-
健康増進と労働安全の推進	年間総労働時間※1	1,993時間	1,974時間	1,980時間
	有給休暇取得率※1	67.1%	76.70%	75%以上
	労働災害度数率※1	0.83※3	0.56	0.5未満
	労働災害強度率※1	0.05	0.04	0.05未満

※1 対象：国内グループ会社 ※2 対象：シスメックス株式会社単体
 ※3 計算方法の見直しにより、昨年度開示数値から変更



Together for a better
healthcare journey